



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,247	2.8	395	0.8	388	2.7	201	5.4
29年3月期第3四半期	7,455	2.3	398	5.9	378	9.1	212	6.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 203百万円 (9.5%) 29年3月期第3四半期 185百万円 (22.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	32.15	
29年3月期第3四半期	34.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	9,142	5,365	58.7	857.61
29年3月期	9,619	5,287	55.0	845.10

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,365百万円 29年3月期 5,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		20.00	20.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	2.8	600	20.8	580	22.3	310	33.9	49.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,257,230 株	29年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	529 株	29年3月期	529 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,256,701 株	29年3月期3Q	6,101,581 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は引続き緩やかな回復基調が続き、雇用環境におきましても緩やかな改善が続いております。しかしながら、海外情勢等による将来的な不安要素が根強く、個人消費におきましては、可処分所得の伸び悩みや物価上昇への懸念が根強く、依然として購買への慎重姿勢が強く、低迷が続いております。

食品業界及び外食業界におきましても、低価格志向などの生活防衛意識が依然として継続しており、品質や機能性を求める選別消費の傾向が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

また、首都圏での認知拡大・売上増加のため、平成29年10月下旬から11月初旬に初めての試みとして、関東ローカルスポットCMを集中投下しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、72億47百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

利益面では、売上総利益は売上高の減少及び工場の減価償却費や固定資産税の増加額35百万円により、前年同期比2.2%減少しました。販売費及び一般管理費は全社横断的に経費の削減に努め、前年同期比2.4%減少しましたが、営業利益は売上総利益の減少額により、3億95百万円（前年同期比0.8%減）となり、経常利益は前期発生した新株発行費が無くなったことにより、3億88百万円（前年同期比2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、役員慰労退職金177百万円や減損損失63百万円が発生したことにより、2億1百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

*参考（四半期別前年同期対比表）

（単位：百万円）

	第1四半期連結会計期間			第2四半期連結会計期間			第3四半期連結会計期間		
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率
売上高	2,457	2,596	△5.4%	2,479	2,588	△4.2%	2,310	2,270	+1.8%
営業利益	138	241	△42.8%	160	150	+6.5%	96	6	+1,447.5%
経常利益	136	228	△40.4%	158	145	+8.8%	94	4	+1,967.2%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

今期の経営方針である「主力アイテム（280ml）の販売強化」、「ブランド戦略継続」、「ゾーニング戦略推進」、「北部九州エリア深耕及び首都圏販売強化」のもと、売上拡大を図ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間におきましては、商品別でみると、「オレンジキャップ」と「焙煎香りごま」は前期を上回って推移しておりますが、「濃い味」及び「ノンオイル和風しょうゆ&レモン」の減少額をカバーできませんでした。また、地域別では、北部九州エリアはほぼ前年同期並みでしたが、首都圏が前年同期を下回り、全体としては売上高が前年同期比減少となりました。

パスタソースにつきましては、前期パッケージデザインを一新し、売上高は引続き堅調に推移しております。

平成30年春の新商品は、得意先の評判がよく、先行発売を行うことを決定し、これからの売上高増加に寄与いたします。

「万能調味料」として、使い方、食べ方提案など商品価値を伝える営業をさらに強化し、地域戦略では首都圏の拡販に注力して売上拡大を図ってまいります。

以上の結果、売上高は52億28百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は15億70百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

②レストラン事業

当第3四半期連結累計期間は「既存店の活性化」、「新業態店舗のテコ入れ」、「提携事業の強化」のもと売上拡大と利益改善を図ってまいりました。旬の食材を取り入れた季節ごとのメニューとして、「春のごちそうフェア」と地元企業の食材を取り入れた「冷製パスタフェア」を実施いたしました。

また、平成29年7月には、グランドメニューを刷新し、洋麺屋ピエトロの原点である、お客様が自由にソースと具材を選べるサービス「カスタマイズパスタ」の再開や、健康志向に因るため、野菜・タンパク質・フルーツなどが一皿に詰まったサラダなど、健康を追求するピエトロらしさを展開しました。同時にメニューの数を絞り込み、原価の低減にも努めました。平成29年12月28日からは、初めてのフェアである「蟹フェア」を実施しています。

平成29年11月に公表したミスタードーナツ様との提携事業につきましては、平成30年2月から本格的に稼働いたします。

さらに、個店別に対策を講じるなど細かな戦略を行いました。

地域別の売上高につきましては、福岡地区の都市型店舗は売上高が前年同期比6.5%増加し、郊外型店舗はほぼ前年同期並みでしたが、東京地区は閉店店舗の影響もあり前年同期比9.5%減少し、F C店舗も閉店の影響により売上高が減少しました。店舗としては、平成28年7月にオープンしました「Pietro YASAI Café 京橋店」の閉店を決定しました。

以上の結果、売上高は18億94百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント損失は69百万円（前年同期は80百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は124百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は68百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億77百万円減少し、91億42百万円となりました。これは主に売掛金が85百万円、その他の流動資産が1億85百万円増加する一方、現金及び預金が2億4百万円、有形固定資産（純額）が1億95百万円、保険積立金が2億54百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ5億55百万円減少し、37億76百万円となりました。これは主に買掛金が1億4百万円、未払金が1億13百万円増加する一方、長期借入金（1年内含む）が1億47百万円、未払法人税等が1億19百万円、役員退職慰労引当金が5億76百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、53億65百万円となりました。これは主に前期決算の剰余金の配当1億25百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益2億1百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,961	1,547,879
預け金	52,172	65,962
売掛金	1,323,322	1,408,552
商品及び製品	78,818	90,000
仕掛品	2,972	3,960
原材料及び貯蔵品	117,636	132,080
繰延税金資産	25,402	77,040
その他	120,800	306,641
貸倒引当金	△3,226	△3,455
流動資産合計	3,469,861	3,628,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,219,372	2,118,319
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	769,032	674,679
有形固定資産合計	4,994,608	4,799,201
無形固定資産	30,551	47,225
投資その他の資産		
敷金及び保証金	440,297	402,448
保険積立金	323,235	68,764
その他	382,280	216,893
貸倒引当金	△21,159	△20,960
投資その他の資産合計	1,124,653	667,145
固定資産合計	6,149,812	5,513,572
資産合計	9,619,673	9,142,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	439,857	544,267
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	193,288	173,266
未払金	390,842	504,277
未払法人税等	124,388	4,828
賞与引当金	46,081	24,616
その他	223,036	314,442
流動負債合計	2,917,494	3,065,697
固定負債		
長期借入金	445,898	318,865
役員退職慰労引当金	700,996	124,048
退職給付に係る負債	58,053	67,376
資産除去債務	68,190	78,979
その他	141,488	121,433
固定負債合計	1,414,626	710,702
負債合計	4,332,121	3,776,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,141,823	3,217,834
自己株式	△495	△495
株主資本合計	5,258,352	5,334,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,871	34,294
為替換算調整勘定	328	△2,823
その他の包括利益累計額合計	29,199	31,470
純資産合計	5,287,552	5,365,834
負債純資産合計	9,619,673	9,142,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,455,271	7,247,027
売上原価	2,989,936	2,881,300
売上総利益	4,465,335	4,365,727
販売費及び一般管理費	4,066,906	3,970,503
営業利益	398,429	395,223
営業外収益		
受取利息	143	168
受取配当金	1,012	1,059
為替差益	87	46
その他	2,208	1,353
営業外収益合計	3,452	2,627
営業外費用		
支払利息	8,627	7,054
新株発行費	13,062	—
その他	1,582	2,064
営業外費用合計	23,272	9,118
経常利益	378,608	388,732
特別利益		
固定資産売却益	565	—
保険解約返戻金	—	39,455
受取保険金	—	170,785
特別利益合計	565	210,240
特別損失		
固定資産除却損	5,344	2,200
減損損失	2,178	63,185
役員退職慰労金	—	177,366
その他	850	3,238
特別損失合計	8,373	245,990
税金等調整前四半期純利益	370,800	352,982
法人税、住民税及び事業税	138,597	30,239
法人税等調整額	19,559	121,597
法人税等合計	158,157	151,837
四半期純利益	212,643	201,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	212,643	201,145

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	212,643	201,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,170	5,422
為替換算調整勘定	△19,691	△3,151
その他の包括利益合計	△26,862	2,271
四半期包括利益	185,781	203,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,781	203,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸) 事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,420,552	1,910,143	124,575	7,455,271	—	7,455,271
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,420,552	1,910,143	126,037	7,456,733	△1,462	7,455,271
セグメント利益 又は損失 (△)	1,655,028	△80,714	68,620	1,642,934	△1,244,505	398,429

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,244,505千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,178千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸) 事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,228,057	1,894,508	124,461	7,247,027	—	7,247,027
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,228,057	1,894,508	125,923	7,248,489	△1,462	7,247,027
セグメント利益 又は損失 (△)	1,570,845	△69,250	68,162	1,569,757	△1,174,533	395,223

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,174,533千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては63,185千円であります。